

聖マリアヘルスケアセンターを過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリアヘルスケアセンターでは、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、ご自分の診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合、また、研究について詳細にお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データからあなたの情報を削除できませんので、ご了承ください。

① 研究課題名	脆弱性骨盤骨折患者における回復期リハ病棟入院時の栄養指標が退院時の歩行能力に及ぼす影響		
② 実施予定期間	承認後～2024年4月1日		
③ 対象患者	2018年4月から2022年3月の間に脆弱性骨盤骨折と診断され保存的治療後に、聖マリアヘルスケアセンターで回復期リハビリまで受けられた方。		
④ 対象期間	2018年4月1日～2022年3月31日		
⑤ 研究機関の名称	聖マリアヘルスケアセンター		
⑥ 対象診療科	リハビリテーション科		
⑦ 研究責任者	氏名	柴崎 奨	所属 聖マリアヘルスケアセンター
⑧ 使用する資料等	診療情報より下記事項を調査します。 年齢、性別、身長、体重、Rommsens 分類、血液検査結果（アルブミン値 (g/L)、C 反応性蛋白 (C-reactive protein : CRP 値)、総リンパ球数 (μL)、総コレステロール値 (mg/dl))、改定長谷川式簡易知能評価スケール (Hasegawa Dementia Scale-Revised 以下、HDS-R)、受傷前歩行能力、退院時歩行能力、回復期リハビリ実施時間、回復期リハ病棟入院時のエネルギー充足率		
⑨ 研究の概要	今回の研究は、脆弱性骨盤骨折受傷後の方を対象に、入院時の栄養指標が歩行能力に及ぼす影響を各項目から選定し、重要な因子を検討することを目的としています。回復期リハビリにおいて運動負荷量の設定は重要なものと考えています。研究を行い、明らかにすることで今後の治療内容の検討に繋がり、有益な情報になると考えられます。		
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑪ 結果の公表	学会や論文等で発表いたします		
⑫ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて（このことを「匿名化」と言います）管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。		
⑬ 知的財産権	聖マリアヘルスケアセンターに属します		
⑭ 研究の資金源	なし		
⑮ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません		
⑯ データの2次利用	本研究で得られたデータ等の2次利用により新たな研究を行う場合は、改めて研究計画書を作成し、再度研究倫理審査委員会の審査を受けます。		

⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	聖マリアヘルスケアセンターリハビリテーション室 柴崎 奨	
	電話	0942-35-5522（代表）